

5月20日 全校朝会の話 「チーム一丸となって、心を一つに」

この写真を見てください。これは、陸上競技の100m×4リレーの日本代表の選手です。5月4日と5日に行われたリレーの世界大会で、日本代表が、パリオリンピックの出場権を得たときの写真です。パリオリンピックでの活躍が楽しみです。



さて、この競技大会は、中央アメリカのバハマという国で行われました。日本代表の選手は、こんなに遠くの場所でも活躍しているのですね。オリンピックの行われる「パリ」はフランスという国にあります。どこにあるか分かりますか。地図で探してみてください。



話をリレーに戻します。レースに出ていた上山 紘輝（うえやま こうき）選手は、このようにお話していました。「日本にとってリレーは、世界で戦える舞台であり、チーム一丸となって戦えることに意義があります。」

また、榎田 大輝（ますだ ひろき）選手は「どうしてリレーが強いのですか」という質問に「リレーでメダルを取りたいと日本の選手全員が思っています。気持ちを一つに、バトンの練習も取り組んでいるので、そこが強みだと思います。」

上山 紘輝（うえやま こうき）選手



Q 日本にとってリレーとは？

日本にとってリレーは、世界で戦える舞台であり、チーム一丸となって戦えることに意義があります。

榎田 大輝（ますだ ひろき）選手



Q どうして、日本はリレーが強いのですか。

リレーでメダルを取りたいと日本の選手全員が思っています。気持ちを一つに、バトンの練習に取り組んでいるので、そこが強みだと思います。

チーム一丸となって、気持ちを一つに練習に取り組んでいるのが日本の強さなのですね。残念ながら、この大会では3位のチームと0.01秒差で4位となり、メダルは逃してしまいましたが、過去に2回もオリンピックで銀メダルを取った日本のリレーチームです。活躍が楽しみです。

リレーと言えば、運動会に向けたリレーの練習が始まりました。写真は、リレーの練習風景です。朝の時間や放課後の時間を使って練習しています。

リレーの良さは、かけっこのタイムの合計が早いチームが必ず勝つわけではないということです。日本の選手は、オリンピックの100m走でメダルを



千束小学校
リレーの選手たち

取ったことはありませんが、100mずつ4人で走る400mリレーで、日本チームがメダリストになれるのと同じです。より速くリレーするためには、上山選手や、柘田選手が話していた「チーム一丸となって、気持ちを一つに練習に取り組む」ということが大切なのでしょう。

運動会に向けた練習が本格的に始まります。リレーの練習も、学年での色々な種目での練習でも、チーム一丸となって、気持ちを一つにして練習に取り組んでみてください。

練習での頑張りど、運動会本番での千束小学校のみなさんの活躍を楽しみにしています。

